

## 文化・芸術

### 《名画の扉》

大川美術館特集展示から

上毛かるたの一節、生まれ、東京美術学校「すそ野は長し赤城山」在学中に渡仏。12年間を想起させる悠然とした姿です。のびのびと広がるすそ野に呼応するかのように、空も高く澄み渡っています。雪帽子をかぶった山頂が顔を出し、澄み切った冷たい空気をあたりに一面に行き渡らせているかのようです。木が画面手前に描かれていて、遠近感が出て、少し小高いところから赤城山を一望している気持ちよさを感じられます。

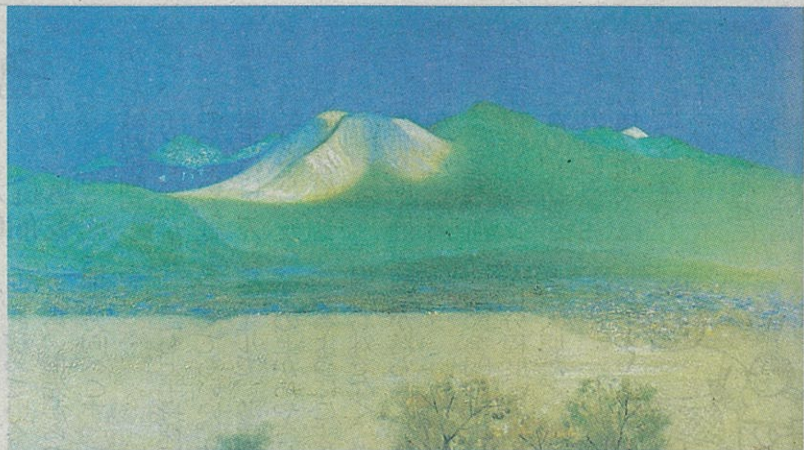
南城中の一節、生まれ、東京美術学校「すそ野は長し赤城山」在学中に渡仏。12年間を想起させる悠然とした姿です。のびのびと広がるすそ野に呼応するかのように、空も高く澄み渡っています。雪帽子をかぶった山頂が顔を出し、澄み切った冷たい空気をあたりに一面に行き渡らせているかのようです。木が画面手前に描かれていて、遠近感が出て、少し小高いところから赤城山を一望している気持ちよさを感じられます。

南城中の一節、生まれ、東京美術学校「すそ野は長し赤城山」在学中に渡仏。12年間を想起させる悠然とした姿です。のびのびと広がるすそ野に呼応するかのように、空も高く澄み渡っています。雪帽子をかぶった山頂が顔を出し、澄み切った冷たい空気をあたりに一面に行き渡らせているかのようです。木が画面手前に描かれていて、遠近感が出て、少し小高いところから赤城山を一望している気持ちよさを感じられます。

(池田)

### 「赤城山」

1986年、油彩・カンバス  
53・7cm×91・0cm



南城中の一節、生まれ、東京美術学校「すそ野は長し赤城山」在学中に渡仏。12年間を想起させる悠然とした姿です。のびのびと広がるすそ野に呼応するかのように、空も高く澄み渡っています。雪帽子をかぶった山頂が顔を出し、澄み切った冷たい空気をあたりに一面に行き渡らせているかのようです。木が画面手前に描かれていて、遠近感が出て、少し小高いところから赤城山を一望している気持ちよさを感じられます。